



市庁舎 免震改修工事が 完了しました

市庁舎は、市民サービスなど市の様々な業務の拠点であるとともに、災害発生時には防災上の拠点となる重要な建物です。平成23年に発生した東日本大震災の際、建物に被害を受けたことから、喫緊の課題として耐震性の確保に向けた取組を進め、平成30年6月から免震改修工事に着手し令和2年5月に完了しました。

免震改修工事により、震度6強～7クラスの大地震発生時においても、人命の安全を確保するとともに、その後も市役所機能を維持できる耐震性能を確保しました。

工事中は、来庁者の皆様に御迷惑をお掛けしました。これまで御協力いただき、ありがとうございました。

免震・補強・連結・分離を組み合わせた免震改修計画

① 免震

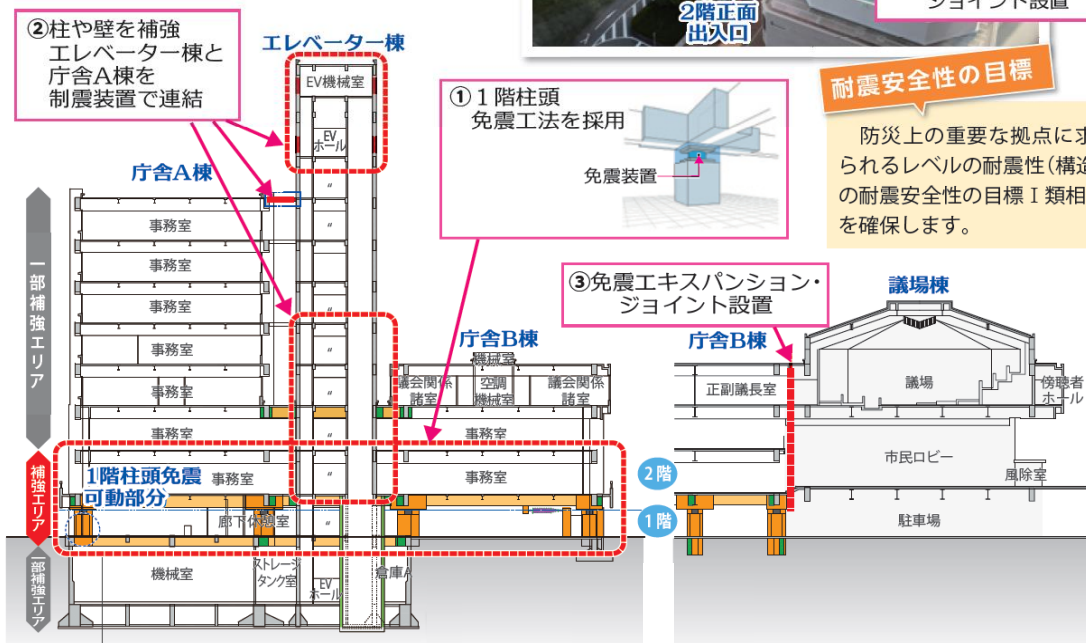
- 1階の柱の上部 28箇所に免震積層ゴムを設置
- オイルダンパーを4箇所設置

② 補強・連結

- 柱や壁を補強
- エレベーター棟と庁舎A棟を制震装置で連結

③ 分離

- 議場棟と庁舎B棟の間に、空間を確保するため、免震エキスパンション・ジョイントを設置



耐震安全性の目標

防災上の重要な拠点に求められるレベルの耐震性(構造体の耐震安全性の目標Ⅰ類相当)を確保します。

市庁舎免震改修工事

- 契約年月日 平成30年6月25日
- 履行期限 令和 2年6月15日
- 工事完了日 令和 2年5月28日
- 契約金額 2,443,187,000円
- 請負者 鹿島建設株式会社東京土木支店

免震改修工事とは

建物の基礎や柱などに積層ゴムなどの免震装置を設置し、地震の揺れを上部構造に伝えにくくする工事です。



工事内容

①免震

○免震装置の設置

1階柱頭に免震積層ゴムを設置しました。
その他、オイルダンパーなどを設置しました。



②補強・連結

○躯体補強工事

柱や壁の補強工事やエレベーター棟と庁舎棟の連結などを行いました。



③分離

○免震エキスパンション・ジョイント設置

既に耐震化が済んでいる議場棟と庁舎棟との間に、建物のクリアランス（※1）を確保するため、免震エキスパンション・ジョイント（※2）を設置しました。

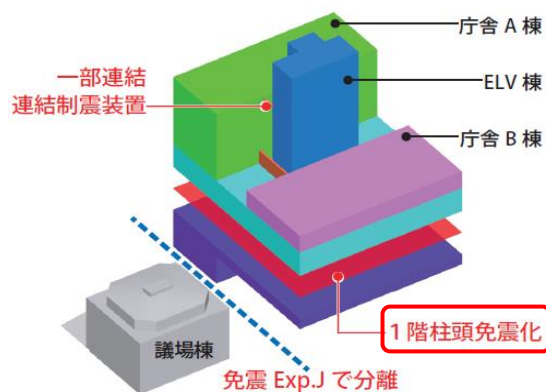
※1：地震発生時、揺れによって市庁舎と議会棟がぶつからないための隔離距離

※2：建物間の隙間を埋めるための特殊な金具

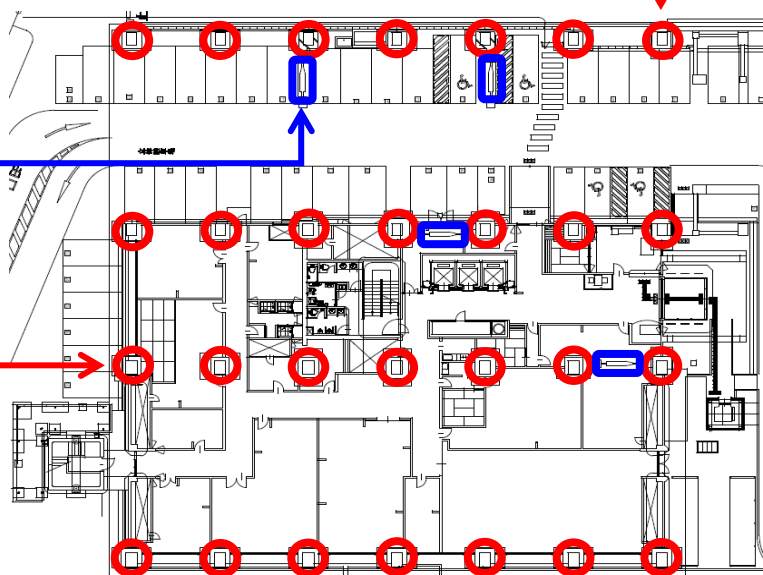


免震装置の設置場所

【設置イメージ】



【1階平面図】



- : 1階柱上部の免震積層ゴム (28か所)
- : 1階天井内のオイルダンパー (4か所)

今後について

市庁舎については、今後30年程度の使用を見据え、長寿命化を図るため、外壁、防水、設備等の改修など、必要となる維持保全を計画的に行っていきます。

また、来庁者の利便性向上のため、内装のリニューアルなど、快適な空間づくりに努めていきます。